

分科会における検証し、見直したい事項について

No	区分	意見等	会派名	備考
1	5分科会審査の 取り扱いについて	各委員が常任委員会所属としての専門性を活かし、審査を深め、かつ、所管当局との関係においても、より具体性に富んだ緊張感ある応答が交わされるなど、高く評価する。なお、今後行われる予算審査の状況も勘案しながら、見直すべきものは、見直してはと考える。	未来創造	第1回定例会 終了後に検証 し、見直し
		1分科会毎に議員数が少ない分、議員としての専門性が問われていることを実感した。	自民党 公明党	
		5分科会ではなく、議員は希望する全ての分科会に出席できるように変更すべきと考える。	みんなの党	
		5分科会審査について、議論が深まったか、否かは、1回の審査では十分に評価できないため、しばらく様子を見て5分科会にした目的を踏まえ議論、検証する。	公明党 共産党	
2	分科会審査日程 について	財政審査の特出しは、全議員が参加できる貴重な場となっているので、今後も続けるべきである。また、全議員が財政局の指摘要望事項の決定にかかわれるようにできれば良い。	民主党 共産党	第1回定例会 終了後に検証 し、見直し
		財政局の特出しは必要性が感じられない。	自民党 公明党 市民ネット	
		財政局所管審査の特出しは、際立った必要性は感じられず、総務分科会として他分科会と同様な形で審査すれば良いと考える。	未来創造	
		分科会の審査期間を延長し、1日1分科会の開催とする。分科会の所属委員と、それ以外の議員の発言回数等に制限を付し実施する。	みんなの党	
		日程調整等を行い、5分科会を半分づつ分散開催し、他の(担当以外の)分科会に参加できるような検討が必要である。	民主党	
		他の分科会の審査を見守るために同時に行うのではなく日程をずらして傍聴もできるような体制を望む。	共産党 市民ネット	
3	発言時間につい て	一問一答方式の30分では十分な審議とは言えないため、時間の延長をすべきである。	共産党 市民ネット	第1回定例会 までに検証し、 見直し
		一括質問は議会改革の立場から時間制限を設けるべきではない。	共産党	
		一括方式については、3回という括りがあるが、発言時間は質問者によって幅が出ており、一問一答方式とのバランスもあり、一括方式でも発言時間に制限を設けるべきである。	自民党 公明党 未来創造	
4	指摘要望事項の 取り扱いについて	指摘要望事項を調整する場を持ってもらいたい。	自民党	第1回定例会 までに検証し、 見直し
		指摘要望事項を行政に反映できるような仕組みを担保すること。	公明党 共産党	
		主査と副主査の意向が強くないようにすること。委員間で相談する時間を十分に取り、意見が複数出たことを基準に指摘要望事項とすることが本当によいのか、指摘要望事項のまとめ方を検討する。	市民ネット	
5	その他の事項に ついて	副委員長・副主査のあり方・役割を検討してもらいたい。	自民党 公明党 共産党	第1回定例会 までに検証し、 見直し
		環境経済分科会が市民局も入り多すぎないか検討すること。	共産党	—
		当局に反問権を与える。	共産党	—
		傍聴者用に机を用意し、委員席次表を置く。また、傍聴者用資料の途中退室での持ち帰りを認める。	市民ネット	—